

多面で多様で多彩を捌く ～JFF #901 マルチモデル～



ワンバイエス初のアルミツアーモデル JFF#901 について、ベースセッティングはグラベル的な (Vol.64 掲載) ものになりますが、フレームから広がる性質や傾向、彩を活かし、旅自転車専門家と自転車競技経験者が個性豊かに組み上げ捌く例をご本人の解説で紹介しします。

～ランドナー屋の視点から組み上げる～

CYCLE TOURING オオマエジムシヨ 店主 大前 仁 氏

▶ CX 車 JFF#807z から派生したこの #901 はグラベルバイク的な仕様となっていて、ランドナーとして組み上げるには少し工夫が必要だ。身長 174cm の僕が選んだサイズ L はトップチューブ長が 555mm と長めだが、それでもフロントセンターは 592mm (OBS-GBD1.5TH フォークのデュアルオフセットを 53mm で使った場合) となる。これは 650B×38 ≒ 27.5×1.50 タイヤの場合フェンダーにつま先が当たらないギリギリの値。この構成でトレールはニュートラルな数値になり、フロントバッグを前提とした場合でランドナーとでは少し異なる。

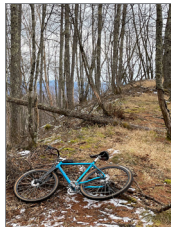
▶フェンダーの取り付けは、リアは上下とも 15mm のカラーを入れてピタリ取り付け。逆に言えば 700×35C くらいまではフェンダーが取り付け可能だが、その場合フロントは上記の通り要注意。フロントフェンダーは、OBS-GBD1.5TH フォークのクラウン部にある M6 ダボを使えば容易に取り付けられる。



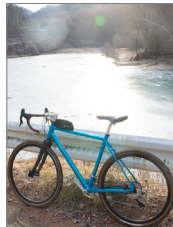
◀フルフェンダーのランドナーバージョン
※ダウンチューブの aprés のロゴは後から貼ったものです。

▶踏み出しも軽く体感アルミとは思えない柔軟な快適性がある。この #901 のようなスペックのフレームをもしもオーダーメイドで作れば、もっとサイズフィットさせることが可能かもしれないが、費用も期間もはかにかかってしまう。しかし有難いことは、これが量産モデルとして生産されている点だと思う。ホイールを用意すれば手早く完成車ができてあがるのだ。

所謂『スタンダードなツーリングフレーム』それが何よりありがたい。



▲古い峠道をグラベル仕様で走る



▲年始早々ダム湖は氷結していた



▲長野県・北相木村の県道



▲JFF#901 と筆者余裕の旅自転車風・・・901 の数字デザインはアニメのあれですか？

～元自転車競技選手が選択した使い方～

TeamZenke 代表 辻 善光 氏

▶中学生から MTB・ロード・シクロクロス・トラックと競技機材としての自転車しか乗ってこなかったが最近アップダウンや寄り道も多彩な通勤ルートで自転車を使用するようになり、街乗り&グラベル& MTB というなんでもありなバイクを 650B というホイール規格で作ってみたいと思っていたところに JFF#901 の存在を知った。

▶軽量な #901 は CX グラベルツーリング系カーボンフォークにドロップハンドルを合わせる基本コンセプトで設計されているが、パーツの構成を考えたときに MTB 用ハンドルとコンポの使用で楽しめないかと思いついた。MTB 的な使い方をした場合にコーナー出口で膨らんでしまうことが想像できたのでフロントフォークには MTB 向けの軽量な grunge カーボン Disc1.5 テーパーフォーク (OF: 42mm) 肩下 455mm を装着することにした。MTB ハンドルを使用する場合ドロップハンドル使用時よりフレームトップ長を伸ばす必要があるの身長 169cm でフレームは M サイズ (トップチューブ長 535mm) を選んだ。フロントはフォークの肩がダウンチューブにヒットすることもなく、アッパーになり過ぎない程度に上昇し操舵の取り回しは軽快だ。見た目も力強いシルエットになった。



▲ベースが #901 とは思えない全体像 ※カラーはマスキングによる特別オーダーとなっています

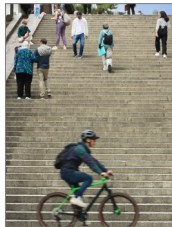
▶ドロップパーシートポスト・フロントシングル・フラットペダル・42mm のセミスリックタイヤ・前後 160mm ローター・100mm ステム・650mm 幅のライザーハンドルと、パーツ費用を抑えながらも、結果的に空気圧調整だけで舗装路からグラベルまで自在に走れる、なんでもできる楽しい「FUN-BIKE」を組み上げることができた。



▲通勤途中に奥山でアグレッシブな道草遊び



▲#901 の S 字扁平シートステーはクッション性能も発揮



▲時に観光スポットも走る通勤ルートでは低速安定安全走行



▲JFF#901 と筆者少しワイルドなマルチバイク風・・・バランスの取れたシルエットですよ

CYCLE MODE TOKYO 2024

4月6-7日に東京ビッグサイトで開催されたサイクルモード TOKYO に出展しました。昨年同様2コマブースに11台の試乗車とオリジナル製品や国内総代理店となった DIA-COMPE などを厳選して展示。多くの皆様にお越しくださり有り難うございました。



▲JFF#901 の豊富なマウントを利用した「stovl」さんの特注革フレームバッグや、「rinne」さんの KURU 特注イラストも飾らせていただきました



▲サイクルガジェット TV のアヤちゃんの手にするのは KURU 店主手製のソフトクリームもどき